

【Iコリント人への手紙3章】

「成長させて下さるのは神様」 Iコリント3:6、7

イエス様の語られる言葉を聞き、その言葉にしたがって歩んでいる人は、御霊に属する人であり、一方ねたみや争いがあり、ただの人のように歩んでいる人は、堅い食物を与えられない肉に属する人であると言っています。信じてはいるけれど、まだ御霊によって十分に支配されてはいない人です。コリントの教会がそうであり、パウロにつく、アポロにつくと党派心を持って、主ご自身から目を離しているからです。

イエス様を信じるということは、常に成長し続ける命の種が私たちの心に蒔かれたということで、それは芽生え育ち成長します。パウロが植えアポロが水を注ぎましたが、6節、7節にあるように、「成長させて下さるのは神様」です。パウロ、アポロとか牧師、牧会伝道師、伝道師、兄弟姉妹は主のお働きの為に用いられている主の器にすぎないのです。あくまで大切なのは、成長させて下さる神様であることを覚えてください。すべての栄光を神様にお返しする事は大切です。あがむべきお方は、ただただ神様です。やすらぎの歌第11集9番にも♪主よあなただけ 崇めほめ歌う あなたの臨在 ここに満ち溢れ 主よあなただけ 崇めほめ歌う みにひれ伏し礼拝します♪とあります。

成長は人の評価するのと、神の評価は違うでしょう。人の評価を気にしながら生きていく人が、果たして神の御心を行なっているのでしょうか。すべては神のみ前に出た時に分かります。

ねたみや争いがある限り、御霊の働きの妨害になります。16、17節には「あなたがたは神の神殿であり、神の御霊があなたがたに宿っておられることを、、、」と記されています。御霊を宿している私たちは、神の協力者であり、神の畑、神の建物だと言っています。(9節)

イエス・キリストという土台の上に、どのように建てるかは、私達の聞き従いによります。10節～御霊の示すとおりに、御心を行なって建てる人生は報いを受けます。一方、救われていても肉に属するままで、御心を行わない人生は、15節にあるように、損害を受け火の中をくぐるようにして助かるのです。

成長させて下さるのは神様ですから、信仰を使って熱心に祈り、全てのことを感謝し、悔い改め、聞き従いのレベルを引き上げていただいで、いよいよ神の栄光にあずかせていただきます。

* 皆様のお手荷物・貴重品等には十分ご注意下さい。
教会内での紛失や盗難等については一切責任を負いかねます。



TLCCC FRH

天に登録されている長子たちの教会

Church of the Firstborn who are Registered in Heaven

主任牧師:イエス・キリスト

牧師:ダニエル大衛

SHILOAM

【シロアム:遣わされた者】

2012.1.8 No.665

今年のみ言葉 歴代誌II 20:22

我らが喜びの声、賛美の声をあげ始めたとき、
主は伏兵を設けて～彼らは打ち負かされた。

なぜなら、神によって生まれた者はみな、世に勝つからです。
私たちの信仰、これこそ、世に打ち勝った勝利です。

Iヨハネ5:4



弟子たちは喜びと聖霊に満たされていた。使徒13:52

主の十字架クリスチャンセンター (TLCCC)

The Lord's Cross Christian Center

<http://astone-blog.jp/tlccfrh/>